



どんな学校？

課程：全日制農業科、商業科

新たな専門高校として設置され、農業、商業の各分野におけるスペシャリストの育成を図るとともに、それぞれの産業分野を相互に学ぶなど、これからの社会に求められる国際化、6次産業化などに対応した教育展開により、多様な地域産業を担う人材の育成を図ります。



どんなメンバー？

学校 マーケティング部員
マーケティング部顧問

地域 平塚まちなか活性化隊
平塚市都市整備課



どんな団体？

<平塚まちなか活性化隊「まち活」>平塚の駅前地域の活性化を目的に活動する団体です。

現在の中心メンバーは、駅前商店街の若手店主たちですが、市役所、商工会議所のバックアップを受け、有志ボランティア・大学生などが強力なサポートメンバーとして参加しています。



はじめたきっかけは？

平塚市都市整備課は2018年度に中心市街地活性化推進事業を開始、「平塚まちなか活性化隊」（以下、「まち活」）への支援をはじめ、市としてのまちづくりの取組を行っていました。

2020年2月に「まち活」がコミュニティスペース「まちなかベースきちきち」（以下「きちきち」）を開設。しかし、新型コロナウイルス感染症感染拡大のためオープニングイベントが中止。このような状況の中、さまざまなまちづくりの担い手による活用方法を模索しているとの情報を高校教育課から入手しました。

もともと「きちきち」開設の情報提供を受けていた本校地域連携担当は、顔合せの場で、お互いの考えを共有することができました。その結果、マーケティング部生徒の活躍の場として、「きちきち」を利用し、「まち活」メンバーとの交流もできる活動を開始することになりました。

すくコミ!

～コミュニティスクール事例集～



学校名

平塚農商高等学校

活動名

マーケティング部
in商店街

神奈川県教育委員会教育局
指導部高校教育課高校教育企画室

この冊子はホームページにも記載しています →



取組紹介

取組の流れ

時数	学習内容
0	教員が平塚市都市整備課とともに「きちきち」を見学して構想を練る。
1	生徒が「きちきち」を見学し、活動計画を立てる。
2・3	実際に「きちきち」でマーケティング部の活動が始まる。
4	平塚ならではのマーケティング部の活動を計画する。



1 HOP

2020年9月

マーケティング部生徒と平塚市職員の打合せ。顧問の先生の助言もあり、生徒は手作りの名刺も用意し、自分たちの構想を含め、意見交換。「きちきち」の見学もして、カフェ風のおしゃれな空間にわくわくでした。

先生の思い

最近では感染症の影響で生徒の活躍の場が少なくなってしまう、できる限り機会を見つけ、提供していきたいなあ…

2 STEP

2020年10月

マーケティング部、「きちきち」で活動を開始。観光がテーマのコンテスト応募のため、動画の撮影や編集をしました。

3 JUMP

2020年11月

平塚市が「きちきち」での活動の様子取材、「広報ひらつか」のトップページを飾りました。また、「まち活」のメンバーも立ち寄ってくれるようになり、商店主から見た意見も伝えてくれるようになりました。



4

FLY

「きちきち」でイベントをしてみたい！平塚産の野菜を売るなど、地域の方と交流できるように企画したいです。



生徒の感想

「きちきち」は室内の壁は白いので、動画撮影に向いているんです。今後は商店街で見つけた材料を使ってまちを元気にする商品を考えてみたいし、それをここで売れたら最高に楽しいですよ。

地域の感想

やっぱり高校生がそばにいと、明るいと感じます。人生の先輩として、何か協力できることがあれば嬉しいと感じますし、商店街のことも知ってもらえたら嬉しいです。